

こんなとき頼りになる消防団

(敬称略)

本市の消防団長以下副団長、各分団長を紹介します。

消防団は、北部地区7分団、南部地区5分団、東部地区4分団で組織され、地域住民の安全のために活躍しています。



団長
黒宮 剛



副団長(東部)
佐藤 直哉



副団長(北部)
鎌田 建作



副団長(南部)
水野 大輔

団長あいさつ

市民の皆さんには、日頃から消防団の活動に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後起こり得る大規模災害に備え、消防団員には消火活動のみならず、水防活動、防災活動と幅広い活動が求められています。さまざまな災害から被害を最小限に抑えるため、規律を重んじながら団員一人一人が大切な人や大切な地域を守りたいという強い郷土愛を持ち、仲間と一緒に活動できる喜びと、地域のために役に立てる喜びを力にして日々活動しております。これからも消防団が消防・防災の要として役割を果たせるよう、一生懸命訓練に励み、市民の安全安心を守ってまいります。

消防団長 黒宮 剛

弥富市消防団名称および区域

地区別	名 称	区 域
北部地区	第1分団	楽平、又八、佐古木
	第2分団	前ヶ平、東中地、西中地、鎌倉
	第3分団	荷之上、五之三、五明
	第4分団	海老江、上之割、中之割、下之割、東弥生台団地、中六北
	第5分団	車新田、前新田、小島、弥生台団地、中六南
	第6分団	平島
	第7分団	前ヶ須、中山、川原欠、大藤
南部地区	第8分団	森津、芝井、鎌島
	第9分団	松名、寛延、間崎、稲元、稲吉、加稲、富島、栄南
	第10分団	狐地、稲狐、三稲
	第11分団	稲荷、操出、西末広、東末広、大谷、駒野、上野、楠
	第12分団	三好、稲荷崎、境、中原、鍋田、富浜、曙
東部地区	第13分団	神戸、桴場、鳥ヶ地、子宝、西蜷
	第14分団	東蜷、四郎兵衛、亀ヶ地、下押萩、上押萩、竹田
	第15分団	五斗山、坂中地、鮫ヶ地、馬ヶ地
	第16分団	堤蛇ヶ江、大山、鍋平、三百島



第1分団長
榊原 亮



第2分団長
高田 悠平



第3分団長
村瀬 公一



第4分団長
伊藤 崇智



第5分団長
伊藤 克俊



第6分団長
廣瀬 守



第7分団長
春山 慶博



第8分団長
村瀬 広晃



第9分団長
松岡 明廣



第10分団長
松岡 雅樹



第11分団長
吉川 貴彦



第12分団長
福田 真



第13分団長
宇佐美 智和



第14分団長
安井 賢一



第15分団長
加藤 剛士



第16分団長
加賀 寛明



ヒロシマと原爆

【原爆の恐ろしさ】

1945年8月6日8時15分。広島に一発の原子爆弾が投下され、その年の12月末までには、約14万人もの命が奪われた。原爆は、上空600mで爆発し、そのときの気温は4000℃に達した。(鉄の溶ける温度は1500℃)

【平和の灯】

写真の炎は「平和の灯」と呼ばれ、1964年8月1日に点火されて以来ずっと燃え続けている。「核兵器が地球上から姿を消す日まで燃やし続けよう。」

【原爆ドーム】

核兵器廃絶と人類の平和を求める誓いのシンボルとして世界遺産に登録されている。アメリカは原爆ドームを「HIROSHIMA PEACE MEMORIAL」(平和の思い出)と例えているが、全然平和ではない。アメリカが落とした理由は戦争を止めるため、アメリカの犠牲者を減らすためだが、結果的に日本の関係ない人々もたくさん亡くなった。

【平和とは…】

理不尽に命が奪われることがなく、誰もが安全に暮らせること。戦争がなく、それにより苦しむ人がいない世の中のこと。

【広島を通して】

広島研修では、普段はできない体験をすることができた。また、平和記念公園をはじめ、原爆ドーム、しげるちゃん弁当、被爆ピアノ講演会、資料館、この二日間で原爆の恐ろしさが身に染みた。そして、「絶対に繰り返してはいけない」という思いが今まで以上に強くなった。

弥富中学校 いいだ 飯田 ひまり



広島レポート

【原爆と核分裂】

広島に投下された原爆は、「リトル・ボーイ」といい一瞬で多くの人々の命を奪いました。原子核は分裂します。それを核分裂といい、核分裂が起こると、放射線などのエネルギーが発生し、この核分裂がごく短い間に連続して起こると一瞬で非常に大きなエネルギーが発生します。この現象を兵器に利用したのが原子爆弾です。そして原爆で、14万人が死亡したと考えられています。

【爆風と熱線】

原爆の爆発の瞬間、爆発点は超高压となり周りの空気が急激に膨張して街を爆風が襲いました。爆心地から半径2kmまでの地域では、ほとんどの木造の建物は壊され、鉄筋のコンクリート造の建物は崩壊を免れた場合でも窓や家具などは吹き飛ばされ、その後全て焼き尽くされ大きな被害が出ました。爆発した時の温度は、数百万度となり、空気中に発生した火球は一秒後には、直径400mを超える大きさになりました。約3.5km離れた人も火傷を負いました。

【広島研修を終えて】

私が思ったのは、人々が苦しみ過ぎていて悲しいことばかりで二日間通して見たものに笑顔はなくて、人の悲しい顔と、苦しみ嘆く絵ばかりで心がすごく痛かったです。なので研修が終わってもう二度と苦しむことがないように願います。

【私たちが考える「平和」とは】

たくさんの人が毎日笑顔で過ごせることとつまらないことでたくさん笑えることが私にとって平和で幸せなことだと思いました。

弥富中学校 こづか 小塚 えま

